

公園内で見られる植物

写真は 11 月 15 日 (土)
自然観察会で見られた
植物です



ラクウショウ (スギ科：手前) とメタセコイア (スギ科：後方) の紅葉

メタセコイアは生きている化石として有名。生長がはやいので公園樹や街路樹としてよく植えられている。よく似ているラクウショウは、葉の付き方と樹形が異なるので区別できる。



アケビコノハ (ヤガ科)

枯葉に見えますが、枯葉そっくり（擬態）の蛾の仲間です。葉脈までありますね。足でしっかりと枯葉につかまっています。目があるのがわかりますか？



ヤマモミジの紅葉 (カエデ科)

秋を感じさせる紅葉。美しいですね。紅葉とは、緑の葉が黄色に色づいているように見えますが、実は、緑色の色素が抜けて葉の中にもともとあった黄色の色が下から現れてきたものだそうです。



アマチャヅル（ウリ科）

生の葉をかむとかすかに甘みがあるので、花祭り（4月8日の釈迦の誕生を祝う祭り）の甘茶を作るアジサイの仲間のアマチャになぞられたものであるとされているが、草の香りと苦みの方を強く感じる。茎葉に朝鮮人参と同じ成分を含むことがわかっている。



ウバユリ（ユリ科）

花が咲く頃には葉（歯）が無い。母親代わりをする乳母が年をとり歯が無くなった頃に育てた子が年頃になる事に例えて「ウバユリ」となった。茎をもってゆすると白い種が雪のようにさらさらと音を立てて舞い散る様がきれいだ。



ツルリンドウ (リンドウ科)

花は8月～10月。かわいらしい花に似て、実もかわいらしい。紅色の実の頭に花柱が残っている。



トキリマメ (マメ科)

ツル性の多年草。さやの部分が赤い花びらのように見える。紫色の果実だが手で潰しても汁は透明で、中の種は白い。



ヒヨドリジョウゴ (ナス科)

山野に生えるつる性の多年草。全体に軟毛があり、8月～9月に白い花を咲かせる。葉に切れ込みが深くあるのが特徴で、丸い緑の実から熟すと紅色になる。艶はなんともいえない。